

ご あ い さ つ

第48回九州地区情緒障害教育研究会
宮崎大会実行委員長 岩 切 康 郎

九州地区におきまして、情緒障害教育にご尽力いただいている皆様におかれましては、日頃から本研究会の事業に格別のご高配を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、令和2年7月30日(木)・31日(金)に開催を予定しておりました「第48回九州地区情緒障害教育研究会：宮崎大会」につきましては、全国で感染が急速に拡大しつつありました新型コロナウイルスの影響、さらに政府からの要請（「多数の方が集まるイベントの中止・延期または規模縮小等の対応」）等によりまして、残念ながら中止とさせていただきます。この間、大会運営等にかかわる諸準備にご協力をいただきました関係各位の皆様には、改めてお詫びとこれまでのご支援にお礼を申し上げます。

学校教育法の一部改正により、特殊教育から特別支援教育に名称変更されてから13年、我が国では、「障害者の権利に関する条約」の批准や「障害者差別解消法」の施行等、共生社会の形成に向けた取組が現在も進められています。そして、様々な発達障害へのきめ細かな対応をはじめとする施策や事業のもと、困り感のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の体制づくりが整いつつあります。しかし、教育現場におきましては発達障害のある児童生徒の増加や多様化する教育的ニーズへの対応がますます顕著な教育的課題となっています。そのため、特別支援教育に対する教員の高い専門性と確かな指導力の向上、保護者や関係諸機関との緊密な連携、そして児童生徒の進学や就労に向けた適切な支援の在り方などが重要視されています。

本県におきましては、策定された「みやざき特別支援教育プラン」のもと、ライフステージに応じた一貫性のある支援、多様な教育ニーズに対応できる人材育成システムの構築、共生社会の実現のための環境整備という3つのビジョンを掲げ、様々な取組を進めています。宮崎大会では「『未来につなぐ特別支援教育の推進』～個別の教育的ニーズに応じた支援の在り方～」というテーマのもと、記念講演や提案発表を計画し、皆さんと研鑽を深めたいと考えておりましたが、残念ながら実現することはできませんでした。

そこで、本大会においてご提案をお願いしていた4名の先生方の貴重な研究実践だけでも集録としてまとめさせていただき、広く皆様にご紹介をさせていただくことといたしました。紙面上ではありますが、本研究集録を通して九州各県における日頃の研究実践を皆様と共有し、個別の教育的ニーズに応じた今後の支援の更なる充実、そして児童生徒の未来へとつなぐ特別支援教育のより一層の推進を図る一助となれば幸いです。

最後になりましたが、本大会の開催に向けてこれまでご指導・ご支援をいただきました関係各団体の皆様に対し、心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。